

令和 6 年度

由仁町教育委員会の活動状況
に関する点検・評価報告書

令和 7 年 7 月

由仁町教育委員会

— 目 次 —

1	点検・評価の基本的な考え方	1 ページ
	(1) 趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の実施方法	
	(4) 事務評価委員の構成	
	(5) 点検・評価の公表	
2	教育委員会の活動状況	3 ページ
	(1) 教育委員等の構成	
	(2) 教育委員会の開催	
	(3) 教育長、教育委員の活動状況	
	(4) 教育委員会関連委員会の活動状況	
	(5) 教育関連の表彰	
3	規則等の制定について	8 ページ
	(1) 教育委員会規則	
	(2) 教育委員会訓令（規程、要綱等）	
4	教育行政執行方針に基づく主要施策・事務等の取組状況	9 ページ
	(1) 学校教育の充実	
	(2) グローバル化社会に対応した人材の育成	
	(3) 教職員の指導力向上と働き方改革の推進	
	(4) 地域に根ざした学校づくり	
	(5) 安全・安心な地産地消による学校給食の充実	
	(6) 大学・高校との連携の推進	
	(7) 生涯学習の推進	
	(8) 芸術・文化、スポーツ活動の推進	
5	事務評価委員会の総括意見	17 ページ

1 点検・評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

由仁町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するため、教育委員会の事務の管理・執行状況について、毎年度、点検・評価を行い、報告書を作成・公表することとしています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、令和6年度教育行政執行方針に示された8項目の基本施策に基づいて実施した事務事業としました。

- 1 学校教育の充実
- 2 グローバル化社会に対応した人材の育成
- 3 教職員の指導力向上と働き方改革の推進
- 4 地域に根ざした学校づくり
- 5 安全・安心な地産地消による学校給食の充実
- 6 大学・高校との連携の推進
- 7 生涯学習の推進
- 8 芸術・文化、スポーツ活動の推進

(3) 点検・評価の実施方法

令和6年度の基本施策に基づく主な取組の内容、成果や課題を明らかにして施策評価を行いました。

個別の事務（取組）については、以下の観点（基準）により評価を行いました。

- A：期待する成果があったもの
- B：期待される成果が得られたが、なお解決する課題があるもの
- C：期待する成果が得られなかったもの

(4) 事務評価委員の構成

「由仁町教育委員会事務評価委員会設置要綱」に基づき、事務評価委員2名を委嘱しています。

職 名	委 員 名	役 職 等
委 員 長	前 田 直 樹	会社役員 元由仁町教育委員
副 委 員 長	清 水 理 絵	自営業 元保護者

(5) 点検・評価の公表

点検・評価終了後、その結果をとりまとめた報告書を由仁町議会に提出するとともに、報告書を町民に公表します。

2 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議は原則として公開により、毎月1回（定例）を基本として開催するほか、必要に応じて臨時の会議を開催しています。

この会議において、4名の教育委員が教育行政の基本方針の決定や教育に関する規則の制定など様々な議題について審議しています。

（1） 教育委員等の構成（令和6年11月1日現在）

職 名	氏 名	委員就任年月日		期数
教育長	石井 洋	初 任	令和4年10月1日	1期目
教育委員	窪田 裕司	初 任	令和元年10月7日	2期目
		職務代理者	令和4年10月3日	
教育委員	水上美紀子	初 任	令和3年10月22日	1期目
教育委員	山川 大順	初 任	令和4年10月1日	1期目
教育委員	河端 直美	初 任	令和6年10月1日	1期目

※ 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正による新たな教育委員会制度が施行されたことに伴い、教育長は就任日より教育委員会の代表者となる。

※ 各職の任期は、教育長が3年間、教育委員が4年間である。

（2） 教育委員会の開催

種別	開 催 日	付 議 案 件 等
定例	令和6年4月12日	(協議) ・ 次回の会議日程について (報告) ・ 専決処分事項の報告について 外11件
定例	令和6年5月10日	(議案) ・ 由仁っ子学力チャレンジ検定料助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について 外3件 (協議) ・ 次回の会議日程について (報告) ・ 令和5年度由仁町立小中学校教職員の時間外在校時間の公表について 外5件
定例	令和6年6月5日	(議案) ・ 令和6年度由仁町一般会計補正予算（教育費）について

		(協議) ・令和6年度教育委員学校訪問について 外1件 (報告) ・専決処分事項の報告について 外4件
定例	令和6年7月4日	(議案) ・由仁町立学校の部活動の在り方に関する方針の一部改定について (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・由仁町議会第2回定例会教育行政報告について 外4件
定例	令和6年8月5日	(議案) ・令和5年度由仁町教育委員会の活動状況に関する点検・評価について 外1件 (協議) ・令和6年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 外1件 (報告) ・教育委員の任期満了について 外2件
定例	令和6年9月6日	(議案) ・令和6年度由仁町一般会計補正予算(教育費)について 外2件 (協議) ・令和6年度ゆに教育の日について 外1件 (報告) ・由仁町立小・中学校空調設備運用指針について 外4件
定例	令和6年10月7日	(協議) ・令和6年度由仁町教育委員会表彰について 外1件 (報告) ・専決処分事項の報告について 外5件
定例	令和6年11月6日	(協議) ・由仁町教育総合会議について 外2件 (報告) ・令和6年度由仁町立小中学校教職員の時間外在校時間について 外3件
定例	令和6年12月5日	(議案) ・令和6年度由仁町一般会計補正予算(教育費)について (協議) ・次回の会議日程について

		(報告) ・由仁町総合教育会議について 外4件
定例	令和7年1月10日	(議案) ・伏見台球場の指定管理者の指定について (協議) ・令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 外1件 (報告) ・専決処分事項の報告について 外3件
定例	令和7年2月7日	(協議) ・次回の会議日程について (報告) ・令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果について 外5件
臨時	令和7年2月28日	(議案) ・令和6年度由仁町一般会計補正予算（教育費）について 外4件
定例	令和7年3月17日	(議案) ・由仁町内の小中学生及び小中学生が所属する団体の施設使用料の減免について (協議) ・次回の会議日程について (報告) ・令和7年度由仁町小中一貫教育の実施について 外7件

(3) 教育長、教育委員の活動状況

日 付	主な内容	会 場
令和6年4月2日	教職員辞令交付式	役場3階大会議室
令和6年4月8日	由仁小中学校入学式	小中学校
令和6年5月31日	由仁中学校体育大会	中学校
令和6年6月1日	由仁小学校運動会	小学校
令和6年6月25日	教育委員学校訪問	小中学校
令和6年7月14日	第34回全町自治区対抗ソフトボール大会	中学校
令和6年7月18日	北海道市町村教育委員研修会	札幌市
令和6年10月1日	教育委員辞令交付（河端教育委員）	役場応接室
令和6年9月6日	由仁中学校学校祭	中学校
令和6年10月19日	由仁小学校学習発表会	小学校

令和 6 年11月 1 日	ゆに教育の日一斉公開授業	来訪者198人
令和 6 年11月 2 日 ～ 4 日	第58回由仁町文化祭	文化交流館
令和 6 年11月 8 日	由仁町教育委員会表彰	役場 3 階大会議室
令和 6 年11月10日	第58回由仁町文化祭「芸能・音楽発表会」	文化交流館
令和 6 年11月12日	空知管内町教育委員会連絡協議会教育委員研修	新十津川町
令和 6 年11月18日	教育委員学校訪問及び学校経営中間報告	小中学校
令和 6 年11月25日	夢づくり子ども教育委員会	健康元気づくり館
令和 6 年12月23日	第 1 回由仁町総合教育会議	役場 3 階大会議室
令和 6 年12月25日	北海道医療大学との連携協力に関する協定締結式	役場 3 階大会議室
令和 7 年 1 月 3 日	令和 7 年由仁町二十歳のつどい～ふるさとを想う～	由仁町文化交流館
令和 7 年 2 月 7 日	第 2 回由仁町総合教育会議	役場 3 階大会議室
令和 7 年 3 月12日	由仁中学校卒業式	中学校
令和 7 年 3 月19日	由仁小学校卒業式	小学校

(4) 教育委員会関連委員会の活動状況

委員会名	開催日	会場
由仁町社会教育委員の会	令和 6 年 6 月12日 令和 6 年11月29日	役場 3 階大会議室
由仁町スポーツ推進委員の会	令和 6 年 5 月 9 日	役場 3 階大会議室
由仁町学校運営協議会	令和 6 年 6 月24日 令和 6 年10月31日 令和 7 年 2 月17日	役場 3 階大会議室 ※ 2 回目は書面開催とした。
由仁町学校給食運営委員会	令和 6 年 6 月24日 令和 7 年 2 月25日	役場 3 階大会議室

(5) 教育関連の表彰

ア 由仁町教育委員会表彰

本町のスポーツ振興に功績のあった個人を表彰しました。

- ・表彰式開催日 令和 6 年11月 8 日
- ・表彰式会場 由仁町役場 3 階大会議室

区分	被表彰者
スポーツ振興	市川 由紀男 (由仁町スポーツ少年団本部長を12年間歴任)

イ がんばる子ども表彰

部活動や学校生活において顕著な成績を残した子どもたちを表彰しました。

区 分	被 表 彰 者	推 薦 者
学芸賞 (個人)	・ 山下 叶泰 (小2 絵画) ・ 吉野 亜美 (小2 絵画) ・ 久々江友里 (小5 書写) ・ 片桐 優杏 (中3 少年の主張ほか) ・ 仲山 聖菜 (中3 英語暗唱ほか)	学校
体育賞 (個人)	・ 篠原 碧 (小6 バレーボール) ・ 和泉 結夢 (小6 チアリーディング) ・ 柴田 丈栄 (中2 野球) ・ 吉田 暁 (中2 野球) ・ 春日 桃 (中2 水泳) ・ 本田一智華 (中3 水泳) ・ 横井 なつ (中2 新体操) ・ 高橋 未羽 (中2 サッカー) ・ 森本 広亮 (中3 サッカー) ・ 仲山 偉琉 (中1 野球)	学校
	・ 石川 陽生 (小6 サッカー) ・ 高根 健伍 (小6 サッカー) ・ 菊池 咲哉 (小6 サッカー) ・ 澤田 快星 (小6 サッカー)	教育委員会
	・ 鎌野 冬麻 (小4 空手) ・ 北川 蓮音 (小4 空手)	少年団
	・ 由仁中学校女子ソフトボール部 ・ 由仁中学校野球部	学校
努力賞 (個人)	・ 寺澤 心 (小6 野球) ・ 小笠原詠人 (小6 野球) ・ 吉野 佑紀 (小6 野球)	少年団

3 規則等の制定について

(1) 教育委員会規則

件 名	公布年月日
伏見台テニスコート管理規則を廃止する規則	令和 6 年 9 月 12 日

(2) 教育委員会訓令（規程、要綱等）

件 名	公布年月日
由仁っ子学力チャレンジ検定料助成金交付要綱の一部を改正する訓令	令和 6 年 5 月 10 日
由仁町立学校職員の訓告等取扱規程を制定する訓令	令和 6 年 9 月 9 日
由仁町立学校職員の在宅勤務実施要領を制定する訓令	令和 6 年 12 月 20 日

4 令和6年度教育行政執行方針に基づく主要施策・事務等の取組状況

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
1 学校教育の充実	学校教育	①基礎学力向上	全国学力・学習状況調査の全校実施	○		●		◆ 全国学力・学習状況調査は、小学6年生及び中学3年生を対象に実施した。小学校では、国語、算数ともに全国平均を大幅に上回った。中学校では、国語、数学いずれも全国平均を下回った。 調査の分析結果を踏まえ、各学校及び学力向上委員会において学力向上を目指し改善策を講じた。 (児童生徒が自ら学習の定着、改善策の実感が図られるかが課題)
			教職員定数の加配等	○	●			◆ 中学校では数学で指導方法工夫改善加配1名、小学校では国語の専科指導加配1名、通級指導加配3名を配置して、学習指導の充実を図った。
			放課後・長期休業期間等を活用した学習指導	○	●			◆ 小中学校で、希望者を対象とした長期休業期間の学習会を実施した。 ◆ 新たに民間事業者の知見を活用した放課後等学習を中学生対象にゆめつく館で行い、学びの改善を図った。
			検定料の助成	○	●			◆ 英語検定や漢字検定に新たにタイピング検定を助成対象として追加し、各種検定を受験した小中学生に検定料の一部助成を行った。
		②小中一貫教育の推進	義務教育9年間を通じた全教科の指導計画の策定など	○	●			◆ 全教科指導計画を作成し、実践した。 ◆ 中学校と同様に小学校にも2学期制を導入した。 ◆ 小中一貫教育をより一層前進していくため、推進体制を整備し直した。
			乗入授業、一日登校体験などの実施	○	●			◆ 乗入授業(数学、理科、国語)、体験登校交流授業(体育、音楽)を実施した。
			小中一体となった行事の実施	○	●			◆ 幼保小中が連携して地域クリーン作戦(環境衛生活動)を実施した。 ◆ 1日防災学校を小中一貫したプログラムで各校において実施した。 ◆ 認知症サポーター講習を実施した。
		③特別支援教育の推進	特別支援教室・通級指導教室の開設	○	●			◆ 小中学校に特別支援教室8学級、由仁小学校に通級指導教室の開設を継続した。
			特別支援教育支援員の配置	○	●			◆ 特別支援教育支援員を小学校に3人、中学校には2人配置した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
1 学校教育の充実	学校教育	④いじめ・不登校問題への対応	学校と行政の連携によるいじめ根絶の取組	○	●			◆ いじめについては、各学校で「いじめ防止基本方針」を策定して対応を整備しているほか、年2回のアンケートの実施により実態の把握、積極的な認知に努めた。不登校については、担任の家庭訪問、個人面談を行うとともに、スクールカウンセラー等を活用した。また、教育相談員が教職員から情報を聞き取り、傾聴、助言などの相談業務を適宜行った。 ◆ 児童生徒が主体となって「いじめゼロ集会」を行い、望ましい人間関係づくりに努めた。 ◆ 小中学校生徒指導協議会の中で、情報共有を図った。
			スクールカウンセラーの活用	○	●			◆ 18日（1日当たり4時間）配置し、生徒・保護者との面談や教職員との情報交換、助言を行った。
			教育相談員による相談体制の充実	○	●			◆ 教育相談員による児童生徒や保護者の悩み相談を、教職員側からも情報を得ながら適宜対応した。
		⑤体力と運動習慣向上対策	全国体力・運動能力等調査の実施	○		●		◆ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、小学校5年生及び中学校2年生を対象に実施した。 調査結果は、体力合計点の全国平均対比で、小学生男子が全国平均を上回ったものの、小学生女子、中学生の男女ともに全国平均を下回る結果となった。 ◆ 小学校では縄跳び、中学校では持久走トレーニングなどを実践した。 （学校生活以外で、運動習慣を身に付けられるかが課題）
			部活動への支援	○	●			◆ 全道大会へ出場する生徒に対し交付金を交付し支援した。
			学校施設設備の改修、整備等	○	●			◆ 小学校グラウンド除草整備や小学校体育館の女子トイレを改修したほか、小中学校の施設修繕を実施した。
		⑥子ども達の健康維持	ゆにっ子検診やピロリ菌検査の取組	○	●			◆ ゆにっ子検診及びピロリ菌検査については、保健福祉課が主体となって、中学2年生を対象に実施した。
			フッ化物洗口事業の取組	○	●			◆ フッ化物洗口は、小学1年生から6年生までの希望者を対象に実施した。
		⑦命を守る教育及び防災教育	交通安全教室等実施	○	●			◆ 小中学校において計画どおり防犯教室・交通安全教室等の開催、火災避難訓練等を実施した。
			1日防災学校の実施	○	●			◆ 小中一貫したプログラムで各校において、1日防災学校に取り組んだ。（再掲）

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
1 学校教育の充実	学校教育	⑧教育現場におけるＩＣＴの推進	児童生徒一人一台端末の活用	○	●			◆ ＧＩＧＡスクール構想の実現に向け、ＩＣＴ支援業務を民間委託し、児童生徒の端末操作等、授業に支障がないよう支援を行った。
			情報モラル教育・マナー指導の実施	○	●			◆ パソコン操作のほか、インターネットやＳＮＳなどによるネットトラブルの防止に向け情報モラルやマナー指導を行った。 ◆ 生徒指導協議会作成の情報モラル９年間の指導計画により、一貫した指導に努めた。
			外部人材を活用したプログラミング学習	○	●			◆ 小中学校において、地元業者と連携したプログラミング学習を行った。
		⑨通学時の事故防止、安全対策	道路管理者や警察、関係機関との連携、環境整備等	○	●			◆ 道路管理者や警察、ボランティア団体と連携し、通学路の安全確保に努めた。
			スクールバスの安全で効率的な運行	○	●			◆ 小学校の統合に伴い、歩いて通学することが困難な遠方に住む小中学生の通学手段として、スクールバスを７路線で運行した。また、平日部活便として６路線、土曜日など休日部活便として４路線で運行した。 ◆ 平成１９年に導入したスクールバスを１台更新した。
		⑩読書習慣の定着	小中学校での読書の推進	○	●			◆ 小中学校で授業前に読書の時間を設け、児童生徒の意識改善を図った。 ◆ ゆめつく館と連携して、小学校に対し「小さな本箱」事業と学級文庫の貸出を行った。 ◆ 小学校でＰＯＰ作成方法の授業や施設見学での図書利用について説明を行い、本への関心を引き出す機会づくりを提供した。
		⑪幼保小連携の推進	小１プロブレム解消に向け関係機関との連携	○	●			◆ 由仁町教育支援会議において、関係機関が連携し児童及び生徒が適切に就学できる体制づくりを進めた。 ◆ 定期的に幼保小中の福祉関係者と教育関係者が集い、情報共有を図った。
		⑫学習環境の確保	熱中症対策	○	●			◆ 熱中症の危険から守るため、小中学校の普通教室に冷房設備を整備した。 ◆ 熱中症警戒アラート発令時の臨時休業基準を見直した。
		⑬就学援助の充実	要保護・準要保護世帯への就学援助費の交付	—	●			◆ 令和７年度新入学児童生徒に対して、入学準備に係る学用品費を３月に繰り上げて支給した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
2 グローバル化社会に対応した人材の育成	学校教育	①国際社会の理解	外国語指導助手（ALT）の配置	○	●			◆ 小中学校に1名ずつALTを配置し、英語や外国語活動の指導を行った。また、就学前の認定こども園や保育園にも週1回程度、ALTを派遣して英語に触れる機会を確保した。
		②民間企業と連携した英語基礎学力の向上	民間事業者からの英語指導者派遣	○	●			◆ 民間事業者から英語の教員免許を所持している指導者の派遣を受け、児童生徒への英語授業を実施した。
		③郷土の歴史や文化の学習	農業体験等の実施	○	●			◆ 小学校では、由仁土地改良区やそらち南農協青年部の協力により、稲作体験（たらい稲、田植え・稲刈り）を実施した。
			キャリア教育の推進（町内企業での職業体験）	○	●			◆ 町内企業で中学校2年生が職場体験を実施した。
			小学校社会科副読本の改訂	○	●			◆ デジタル版による社会科副読本を作成した。 ◆ 地元出身の作家のイラストを使用し、親しみやすい内容への改訂に努めた。
3 教職員の指導力向上と働き方改革の推進	学校教育	①教職員の指導力向上	小中一貫教育推進委員会教育振興会への支援	○	●			◆ 学校教育の直接の担い手である教職員の資質向上のため、小中一貫教育推進委員会教育振興会の活動に対し支援を行った。
			教職員研修の実施	○	●			◆ 学校における救命処置や応急手当の知識習得のため、消防由仁支署の協力の下、救命救急講習を実施した。
		②働き方改革の推進	働き方改革アクション・プランの推進	○	●			◆ 時間外在校時間をホームページで公表した。 ◆ 定時退勤日の増加や部活動休養日の統一に努めた。
			教職員の校務の効率化	—	●			◆ 事務補を各校に配置するとともに校務支援システムを活用した電子化を進めるなど、教職員の校務の効率化に努めた。 ◆ 北海道教育委員会から中学校に教頭マネジメント支援員が配置され、教頭の勤務環境の改善が図られた。
4 地域に根差した学校づくり	社会教育	①学校運営協議会の活動推進	コミュニティ・スクールの運営	○	●			◆ 年2回の会議、1回の書面会議において、学校の課題についての協議や次年度の学校経営方針の承認、学校関係者評価、由仁町学校支援企業バンクの運用状況報告を実施した。
	学校教育	②ゆに教育の日	一斉公開授業の実施	○	●			◆ 「ゆに教育の日」として、11月1日に小中学校とにじいろこども園、三川保育園で一斉公開授業を実施し、延べ198人が参観した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
4 地域に根差した学校づくり	学校教育		夢づくり子ども教育委員会の開催	○	●			◆ 夢づくり子ども教育委員会では、小中学生13名を子ども教育委員に委嘱し、「部活動地域移行ってなんだろう？～私たちの放課後や休日が変わる！？～」をテーマに児童生徒が意見交換し、部活動や習い事など放課後等の過ごし方について発表した。 ◆ 事業運営には、ICTを積極的に活用し事業を進めた。
5 安全・安心な地産地消による学校給食の充実	学校給食センター	①食育の推進	栄養教諭による食育指導の推進	○	●			◆ 望ましい食習慣や食と健康について発達段階に応じた指導を行った。 ◆ 中学校3年生を対象に望ましい食事の量やバランス、マナー等を身につけることを目的にバイキング給食を実施した。 ◆ 給食だよりを通じ、保護者への周知啓発を図った。
			由仁のものの学校給食の実施	○	●			◆ 産業振興課と連携し、8月～11月の給食67回中、58回に地元産の野菜や加工品を使用し、地産地消による食育を推進した。
			安全・安心な学校給食の提供	○	●			◆ 各業務受託業者との連携を密にし、調理中、運搬中の衛生管理に努め、安心安全な給食を提供した。
6 大学・高校との連携推進	学校教育	①交流協定大学・高等学校との連携	連携・交流の推進	○	●			◆ 江別市内の大学との学生地域定着推進広域連携協議会（ジモ×ガク）を通じ、小中学校の長期休業学習会の講師に大学生を活用した。 ◆ 新たに北海道医療大学と連携協定を締結した。 ◆ 首長推薦入学試験制度により、札幌日本大学高等学校に1名が入学した。
7 生涯学習の推進	社会教育	①青少年の健全育成	4町合同青少年リーダー研修会の開催	—	●			◆ 長沼町を会場に「オリジナルかれーづくりとPG（パークゴルフ）大会」を開催した。4町から13名（うち由仁町1名）が参加し、交流を深めた。
			子どもの安全対策の推進	○	●			◆ ゆにっ子見守り隊・防犯協会・PTA連合会等と連携し、登下校時の安全対策や不審者情報の共有を図った。
			望ましい生活習慣の定着	—	●			◆ 「早寝、早起き、朝ごはん運動」等の4つの取組を推進するため、今年度も小中学生を対象に啓発ポスターの募集を行い、受賞者を表彰するとともに作品を文化祭に展示した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
7 生涯学習の推進	社会教育	②高齢者大学	高齢者大学「アカデメイア・ユニ」の開催	○	●			◆ 前期「アイヌ文化」、後期「北海道学」をテーマに全16回27講座を実施した。（在籍：42名）
		③女性の活躍や交流の促進	女性セミナー「フィーカ」の開催	○	●			◆ 「きらっとL i f e ～つなぐ～」と連携し、全9回の講座を実施した。
		④英会話教室の開催	ネイティブのA L Tによる実施	○	●			◆ A L Tを講師とした英会話教室を49回実施し、延べ265名が参加した。 日常会話等を通じ、英語に触れる機会を創出した。
	ゆめつく館	⑤ゆめつく館の「知の拠点」としての刷新	管理運営の効率化の検討	○		●		◆ 情報センターとして機能強化するため、事務局で検討協議を進めた。 （機能強化を図るため、当町にとってどのような手法が適正なのかを定めることが課題） ◆ ホームページでの新刊情報や行事案内の発信に努めた。
			町民の読書習慣の定着	○	●			◆ 図書館の行事や司書の仕事を体験し、読書への興味関心を深められるよう読書イベント「めざせ！スーパー司書」や絵本展を実施した。 ◆ 「あおぞらとしょかん」は52名「おはなし会」は212名の参加があり、図書館利用の機会となった。 ◆ 保護者に向けて、読書の楽しさと大切さを伝えるため、三川保育園において読書支援事業「気ままに1冊」を実施した。
			ゆめつく館の管理	○	●			◆ 省エネ対策として照明設備LED化を行った。
8 芸術・文化、スポーツ活動の推進	社会教育	①芸術文化、郷土芸能活動の奨励	由仁町文化連盟への支援及び文化事業の実施	○	●			◆ 文化連盟が主催する由仁町文化祭の実施に対し補助金を交付するとともに、事業実施時に人的協力を行い支援した。
			文化交流館事業実行委員会への支援	—	●			◆ 交付金を交付し、住民参加型の歌謡大会など様々な事業を支援した。 3つのイベントにより、住民の芸術文化に対する意識高揚の推進に寄与した。

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
8 芸術・文化、スポーツ活動の推進	社会教育	②スポーツ活動の推進	第34回 全町自治区対抗ソフトボール大会	－	●			◆ 参加チーム数の減少に伴い、参加者の利便性と運営の効率化を考慮し、会場を由仁中学校に集約して実施した。また、江別市4大学による学生地域定着推進広域連携協議会（ジモ×ガク）を通じ、大会運営に大学生を活用した。 参加数：8チーム（10自治区） 137名
			第15回 ゆっくり由仁ウォーキング	－	●			◆ 由仁町スポーツ推進委員、由仁スポーツクラブとの共催により実施した。 参加数：66名
			第23回 ミニバレーボール大会 （旧 冬季ミニバレーボール大会）	－	●			◆ スポーツクラブ、スポーツ推進委員による運営により実施した。 参加数：5チーム（42名）
		③体育関係団体への活動支援	スポーツ推進委員の活動の充実	○	●			◆ 年1回の会議のほか、ゆっくり由仁ウォーキングの企画運営や町主催事業、スポーツクラブ主催事業等への協力を行った。
			スポーツ協会・スポーツ少年団への支援	○	●			◆ 補助金を交付し、スポーツ協会及びスポーツ少年団の活動を支援した。 北海道教育委員会と連携し、オリンピックによるスポーツチャレンジ教室&コーチ・ペアレンツ講習会をスポーツ少年団交流会事業として実施し、交流を深めた。
			総合型地域スポーツクラブとの連携	○	●			◆ 補助金を交付し、ヨガ教室、ミニバレーボール大会の開催を支援した。
	学校教育	④中学校休日部活動の地域移行	推進協議会の運営	○	●			◆ 協議会を2回開催し、休日部活動の地域移行について協議を進めた。
			実証事業	○	●			◆ スポーツ庁の委託事業の採択を受けた。計画どおり事業を進めた。
	社会教育	⑤がんばれ応援基金の活用	基金による子ども達の活躍の後押し	○	●			◆ スポーツで活躍する町内の子どもたちが全国大会に出場する際に旅費等の助成により支援した。 令和6年度該当件数：6件（11名）
		⑥文化・スポーツ各施設の適正管理	文化交流館の管理運営	○	●			◆ 指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図った。（5年契約の2年目） 省エネ対策としての照明設備LED化及び電波法の改正に伴うワイヤレスマイクの更新工事を行った。
			町民由仁プールの管理	○	●			◆ 指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図った。（3年契約の2年目）

主要施策	担当	点検評価項目	具体的な取組等	執行方針	評価			成果・課題等
					A	B	C	
8 芸術・文化、スポーツ活動の推進	社会教育		町民三川プールの管理	－	●			◆ 計画どおり夏期30日間
			町体育館の管理 学校開放事業の実施	○	●			◆ 町体育館の休館に伴う利用者の活動場所を学校施設開放事業により確保した。 町体育館の今後の方針は検討中。
			伏見台球場の管理	－	●			◆ 指定管理者制度を導入し、管理運営の効率化を図った。（単年契約）
			勤労福祉センターの管理	○	●			◆ 省エネ対策として照明設備LED化を行った。
			小中学生の体育施設使用料の無償化	－	●			◆ 小中学生が団体や個人で使用頻度の高い施設の使用料無償化措置を継続し、子どもたちの活動の場の提供に努めた。

5 事務評価委員会の総括意見

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第2項の定めにより、教育委員会から提出を受けた資料（主要施策8項目に基づく点検評価項目及び具体的な取組等）について、令和7年7月25日に行われた教育委員会事務評価委員会において教育委員会事務局からの説明を受け、その後意見交換を行いました。

令和6年度由仁町教育委員会点検・評価報告書の作成に当たっては、令和6年3月5日開会の令和6年由仁町議会第1回定例会において教育長が示した教育行政執行方針の内容に沿って整理区分し、それぞれの評価項目による個別事務・事業の取組について、A～C評価による自己採点を行い、その成果や課題等が記載されており、教育行政を理解する上で重要な報告書となっています。報告書にある分野ごとの特筆すべき事項について、当委員会としての意見を述べさせていただきます。

点検・評価結果に基づいた意見

（1）教育委員会の活動状況

教育委員会定例会を12回、臨時会を1回開催し、各教育委員から課題解決に向けた積極的な発言、慎重な議案審議による円滑な会議運営が図られており、成果を上げています。令和6年10月1日付けで河端直美教育委員が新たに就任され、新体制による教育諸施策のさらなる推進を期待しています。

教育長、教育委員の活動においても、学校訪問や総合教育会議を通じて教育現場の取組や児童・生徒の授業状況の把握に努めるとともに、町部局との積極的な情報共有や意見交換がなされ、未来を見据えた連携がしっかり図られていることを評価します。

教育関連の表彰においては、教育委員会表彰ではスポーツ振興の分野で1人の個人が受賞し、がんばる子ども表彰では、学芸、体育、努力の各表彰部門で2団体24個人が受賞されており、大きな励みとなりました。

（2）主要施策・事務等の取組状況

学校教育では、多項目にわたり積極的な事業が進められ、特に一人一人の個性を伸ばす教育の推進においては、時代に即応する取組が図られています。

社会教育では、多様な価値観などの様々な社会変化の中で、人生100年時代の生涯学習社会を後押しする社会教育の充実と推進に向けた各種事業が着実に実施されています。

①学校教育の充実

全国学力・学習状況調査では、小学6年生では国語、算数ともに全国平均を大幅に上回りました。中学3年生では国語、数学いずれも全国平均を下回りました。結果を分析し児童生徒自らが向上を実感できるような改善を期待します。また、新たな取組として、民間事業者を活用した放課後等学習や検定料助成事業にタイピング検定を追加するなど、施策の充実が確認されました。

小中一貫教育の推進では、中学校と同様に、小学校にも2学期制が導入され、義務教育9年間で目指す15歳の姿の実現に向けて、積極的に進められることを期待します。

いじめの実態把握については、年2回のアンケートの実施が行われていますが、小さな予兆も見逃すことのないよう、教員の連携を強めて対応をお願いします。不登校の問題においても、要因が多様化、複雑化していることから、きめ細やかな対応を引き続きお願いします。

I C Tの推進では、G I G Aスクール構想の実現に向けI C T支援業務を民間委託し、児童生徒の支援が図られています。必要な知識・技能を教職員一人一人が身に着け、指導方法の工夫が図られることを望みます。また、タブレットやスマートフォン端末は、現代の生活にかかせない物となっています。非常に便利な物である反面、ネットトラブルとは背中合わせの状況です。日々進化し続けるこの分野に関し、学校だけではなく家庭生活も含めたルールやマナーを情報モラル教育として、これまで以上に進められるようお願いします。

学習環境の確保では、小中学校の普通教室に冷房設備が整備され、熱中症の危険から守る改善策が図られました。

②グローバル化社会に対応した人材の育成

外国語指導助手（A L T）を小中学校に各1名配置し、実践的英会話やコミュニケーション能力の向上に向け、積極的に展開されています。また、英語基礎学力の習得に向け、民間事業者から教員免許を所持している指導者の派遣を受け、施策の充実が確認されました。外国語を学ぶことは、将来の選択肢を広げることに繋がりますので、今後も特色のある学びの推進に期待をしています。

小学校社会科副読本は、改訂に合わせてデジタル版による編さんとし、内容も当町出身の作家のイラストを使用するなど親しみやすい内容へ刷新されました。

③教職員の指導力向上と働き方改革の推進

社会変化に柔軟に対応できる子どもを育てていくため、今後も様々な動向に感度を高めて、学校教育の担い手である教職員自らが指導力向上に向けて学び続けていくことを望みます。また、教職員の働き方改革は、単なる業務時間の短縮ではなく、「子どもと向き合う時間の確保」が第一の目的であることを再認識いただくようお願いします。

他方で、全国各地で教職員の個人情報紛失、交通違反・事故、ハラスメント等の不祥事が後を絶ちません。引き続き不祥事を生み出さない組織づくりへの取り組みをお願いします。

④地域に根差した学校づくり

コミュニティースクールは3年目に入り、学校の課題や経営方針の承認、評価のほか、学校支援企業バンクの運用状況について協議が進められています。学校と地域をつなぐ大切な組織ですので、今後も一歩ずつ組織が成長することを期待します。

ゆに教育の日の活動では、一斉公開授業や夢づくり子ども教育委員会が開催されています。夢づくり子ども教育委員会では、「部活動地域移行ってなんだろう？～私たちの放課後や休日が変わる！？～」をテーマに、子ども達にとって身近な話題が議論されていました。

⑤安全・安心な地産地消による学校給食の充実

町内で収穫された野菜や加工品を使用し、地産地消による充実した学校給食が提供されています。また、食事量やマナー等の習得を目的としたバイキング給食の実施など、工夫を凝らした食育指導が図られています。今後も安全・安心な給食の提供をお願いします。

⑥大学・高校との連携推進

新たに北海道医療大学との連携協定が締結されました。また、令和5年度に協定を結んだ札幌日本大学高等学校への首長推薦入学試験制度により1名が入学されました。

今後も連携を進め、進路の多様化、学校教育の高度化につながることを期待します。

⑦生涯学習の推進

高齢者大学「アカデメイア・ユニ」では、テーマを「アイヌ文化」や「北海道学」として、生まれ育った北海道を深掘りする充実した講座の実施を確認しました。今後も魅力ある学習プログラムを提供されることを望みます。青少年の健全育成、女性活躍等では、4町合同青少年リーダー研修会や女性セミナー「フィーカ」、A L Tによる英会話教室が実施され、積極的な交流が深められています。

ゆめつく館の運営については、図書館が「知の拠点」として町のホームページを活用して新刊情報や行事案内を積極的に活用して情報発信に努めていました。

また、これまで同様、楽しみながら本に親しみ興味関心を深められるよう幼児や児童を対象としたイベントのほか、保護者を対象に日々の生活に本を楽しむ機会を提供する事業として、三川保育園で読書支援事業が実施されています。

⑧芸術・文化、スポーツ活動の推進

文化交流館事業実行委員会への支援によって、3つのイベントが実施され芸術文化事業の振興に繋がりました。今後とも連携を保ち支援の継続をお願いします。

スポーツ活動では、ソフトボール大会、ウォーキング、ミニバレーボール大会がスポーツ推進委員やスポーツ協会などの関係者と協力して事業に取り組まれています。サークルや部活動などスポーツ分野においてもデータ分析、オンライン指導などでI C Tの活用が有効視されています。必要に応じてI C Tの取り入れの検討をお願いします。

また、がんばれ応援基金を活用して、6件11人の全国大会出場者の支援が行われました。今後も活躍の後押しができるよう支援を望みます。

中学校の休日部活動地域移行では、協議会で議論が進められています。地域移行は、保護者の協力なくして成立しないものと考えられますので、より良い方向性を見出していくことを望みます。

施設管理の面では、文化交流館、ゆめつく館や勤労福祉センターで省エネ対策として照明設備のL E D化が進められました。利用者の安全に配慮した適正管理を望みます。

(3) 全体講評

現代社会は、A I の進化、グローバル化、価値観の多様化が急速に進行しています。このような変化の中で、教育行政は柔軟かつ迅速に対応すること

が求められています。この点検・評価報告書は、教育行政の現状を理解するための重要な資料であり、今後の施策の方向性を示すものです。

教育委員会は、教育現場と社会のニーズを的確に捉え、子どもたちが未来を生き抜く力を育むための施策を推進していかなければならない中、個性を尊重し、時代に即した教育を提供する取り組みは高く評価されます。

令和7年度以降の教育行政においても、これまでの成果を基にさらなる発展を目指していただきたいと思います。学校教育では教育現場との連携を深め、社会教育では地域との協力を強化し、地域全体で子どもたちの成長を支えていくことが重要です。これにより、由仁町の子どもたちが多様な社会の中で力強く成長し、未来を切り拓く力を身につけることを期待し、当委員会の意見報告とします。